

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北陸)	良く なっている	一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・12月に入ってから、来客数が多い日が続いている。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・12月の車の販売量は、前年同月比140%であった。なお、今年9月における当該販売量は前年同月比125%であり、3か月前と比較すると、良くなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は全体として天候が悪いことにより足元も悪くなり、また、年の瀬に伴い忘年会などから、タクシーの利用客が多かった。なお、前年同月は忘年会については週末が大半であったことから、上旬の利用客は少なく中旬以降においては増加となったが、今月については週末はもちろんのこと、平日においても月初より利用客が多かった。
	やや良く なっている	一般小売店〔事務用品〕（店員）	販売量の動き	・今月は会社全体の売上が多少増加傾向にあり、営業及び店舗ともに忙しい状況下にある。また、引き合いについても、例年よりも前倒しされており同様の傾向にある。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	単価の動き	・食品表示問題により、今年のおせちや年末年始の商材については本物を使わざるを得ないことから、単価が上昇し売上についても増加傾向にある。上述の件により、食品関係の納入業者にとっては、良い傾向が続いている。なお、全体としては3か月前の状況よりやや良くなっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・暮らし関連部門の売上については、12月は前年同月比で1割増となり、非常に好調に推移している。具体的には、羽毛布団や高級な輸入製品の鍋など、家の中の生活を楽しむような多少高額な商材が売れている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・12月中旬以降はクリアランスセール待ちの客が多く散見され、売上については、前年同月と比較すると、当該セールを開催している店舗については増加しているが、それ以外の店舗については減少傾向にある。ただし、気温が急激に低下したことにより、秋物商材の動きが悪くなり冬物商材の需要が増加し、全体の売上については11月よりも増加傾向にある。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・クリスマス関連商材の販売状況やおせちの予約状況については、前年同月と比べて点数については増加傾向にあり、また、単価についても上昇していることから、景気の回復傾向が感じられる。また、小麦の高騰による関連商材の値上がりも考慮しても、全体的な売上は増加傾向にある。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・来年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要により、高額商材や大型商材が売れ始めてきている。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・全体的に客単価が前月より上昇傾向にある。特に、パソコンについては来年4月に代表的なOSの旧バージョンのサポートが終了することから、買換え客が増加してきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・月初に開催したイベントにおいて予想以上の来場者数があり、また、受注販売量についても前年同月比200%となっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・整備の売上については悪い状態が続いているが、新車及び中古車の販売台数は計画を達成している。なお、全体としては3か月前の状況よりやや良くなっている。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・例年同月と比較すると、忘年会及びクリスマス需要とともに、来客数が微増したことに加え、客単価についても上昇したことから、売上については前年同月比約110%を確保した。なお、個人客及び法人客ともに好成績の売上は、久しぶりのことである。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・しばらく忘年会を控えていた会社が数年ぶりに忘年会を開催したり、秋以降、来客数及び売上ともに前年同月より増加している。上述の件により、全体としては3か月前の状況よりやや良くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・忘年会などへ向かう客の態度が、3か月前よりもにぎやかな感じになってきている。

	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ボーナス商戦に入り販売数が大幅に増加すると想定していたが、計画の約7割となり、新規取扱メーカーのスマートフォンによる効果も薄くなってきているように感じている。なお、全体としては3か月前よりやや良くなっていると認識している。
	通信会社（店舗統括）	お客様の様子	・価格が安いものではなく、客自身が欲しいもの、価値のあるものを求める傾向が強くなっている。
	通信会社（役員）	単価の動き	・高額コースへの加入状況が、多少ではあるが増加傾向にある。
	競輪場（職員）	販売量の動き	・開催日数が少なくグレードレースが多かったことにより、1日当たりの売上平均額が前年同月より多少増加した。
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・例年どおり客への招待セールを行ったが、購買意欲が高くないことにより、景気回復は実感できない状況下にある。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・12月に入り、クリスマスギフトなど、消費のモチベーションが上昇する機会であるにもかかわらず、客の購買意欲に盛り上がりが見られない。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
	スーパー（店長）	単価の動き	・クリスマス商戦や年末商戦の動きをみると、前年同月と比較すると、催事の売上が今一つ増加していない。なお、上述の要因は他業態の店舗との販売が重複していることが一因と考えているが、買上点数が増加せず、単価についても上昇傾向にはない状況にある。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・競合店の増加に伴い、来客数が前年同月を下回っている状況にある。また、寒さが続かないことにより、防寒衣料及び暖房用品の販売数が増加傾向にない。なお、全体としては3か月前とほとんど変わらない状況にある。
	スーパー（統括）	単価の動き	・前年同月と比較すると、1品単価については野菜の高騰により多少上昇しているが、店舗全体としての販売点数はほぼ横ばいの状態にある。また、来客数についても相変わらず同97～98%前後で推移している。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上については前年同月と比較すると、5か月前において近隣への競合店のオープン時に落ち込みが発生し、今月は多少回復したが100%までには回復していない状況にある。また、クリスマス商戦の売上についても、前年同月と比較すると増加傾向にはなかった。
	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・来客数及び客単価ともに、前年同月比で横ばいの状況が続いている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今年の売上は前年比約10%増加しているが、前年の売上はおとしに比べて約10%減少していたことから、今年の当該状況については、景気が良くなったというよりも、おとしの状況に戻ったのみであるととらえている。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
	衣料品専門店（総括）	販売量の動き	・例年どおり売上は増加傾向にあるが、前年同月比の状況については3か月前よりほぼ同じ推移をしている。
	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・売上については、新型車効果も薄れつつあることにより多少減少傾向にあるが、来年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要が多少助けになっているように感じている。なお、全体としては3か月前とほとんど変わらない状況にある。
	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・今月は降雪により、冬季商材の動きは例年同月並みであったが、高額商材については単価を含めて回復の兆しが無い。なお、エンジンスターターなど一部の季節商材においては、例年同月と比較すると売上が増加しているものもあるが、景気は大きくは変動していないと認識している。
	住関連専門店（店長）	単価の動き	・消費税率引上げに伴う特需があり、新築物件が増加していることより、まとめ買いによる単価の上昇が発生している。しかし、買換えなどの客は少なく、必要に迫られて購入しているように感じている。なお、上述のような状況は、景気が良くなったことに伴う上昇ではないことから、今後も当該状況が続くとは考えていない。全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。

その他専門店 〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・12月は歳暮商戦のため多忙な時期ではあったが、前年同月と比較すると、利益は増加してはいない。また、売上についても当該月と比較すると、減少傾向が続いている状況にある。
その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（経営者）	販売量の動き	・エコカーの増加により、客の給油回数が減少傾向にある。具体的には、1月当たりの給油回数については、以前は3～4回であったが現在は1～2回に減少している。なお、当該傾向は、最近数か月間、継続している。
その他専門店 〔医薬品〕（総務担当）	来客数の動き	・前年同月比の状況については、来客数は横ばい、客単価は多少下回って推移している。なお、売上については、ダイエット関連商材は某社商材における景品表示法違反問題の影響により減少しており、また、風邪がはやっていないことから、薬及びマスクともに前年を下回っている。ただし、カテゴリー別の売上状況をみると、ほぼ前年同月並みで推移している。
その他小売 〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・来客数は前年同月よりも増加しているが、食品など日用品関連の売上が中心であり、客単価についてはほとんど上昇していない。むしろ、来客者数全体に占める購入者数の割合が低下している。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・3か月前と比較すると、来客数及び売上ともに、ほとんど変化が無い状況にある。
スナック（経営者）	来客数の動き	・例年12月は多忙な時期になるため、今年の同月の売上についても、前年同月比100%以上を期待していたが、結果的には他の通常月と変わらなかった。ただし、週末においては、タクシーや代行運転が1～2時間待ちの時もあり、人出があるように感じられた。全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・総売上は前年同月比113%、宿泊人数は108%、宿泊単価は同105%と好調な状況を維持できている。なお、当該要因は、部屋の調整が可能となったことに伴い個人客が当該比116%と大きく増加した点及び15名以上の団体客についても同102%と好調を維持できたことに起因するものと考えている。全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・前年同月と比較すると、宿泊部門においては外国人客が増加傾向にあるが国内の旅行客は増加していない。また、宿泊単価についても下げ止まっている。なお、レストラン部門の売上については、単価を上昇させる努力をしているが、前年同月並みの状況下にある。さらに、12月の売上のウェイトが高いおせちの売上については、レストラン部門と同様の状況にある。一方、仕入れコストについては円安に伴い軒並み上昇していることから、会社の収益を圧迫している。全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・消費税率上げやETC割引率の低下などが予定されていることに伴い、当該業界に手控え感がある。なお、今月は全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
通信会社（職員）	お客様の様子	・情報通信業全体においては相変わらず競争激化の状況下にあるが、顧客については特に大きな動きはない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客からの問い合わせが多少増加傾向にあったことから売上の増加を期待していたが、加入者数及び解約者数ともに、3か月前と比べて変動が無い。
通信会社（役員）	販売量の動き	・キャンペーン実施の効果もあるが、年末年始はケーブルテレビの需要が高まる時期にあるため、獲得件数は最近数か月のなかで比較的好調な傾向にある。全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
その他レジャー施設（職員）	お客様の様子	・積雪も無いため足元が良く、利用率は低下していない。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わらない。
美容室（経営者）	来客数の動き	・今年の夏以降、来客数及び売上ともに、前年同月割れの月が増加してきている。なお、美容業界においては、地方のみではなく都市部においても同様の傾向がみられる。全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。

やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・セールを前倒して開催したが効果は無く、全般的に盛り上がりには欠けた。なお、全体としては3か月前の状況よりやや悪くなっている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・天気が悪いと極端に人出が減少し、近隣駐車場においても満車になることがほとんど無かった。また、客単価についても低下傾向にあった。さらに、お歳暮商戦は全く活気が無かった。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・前年同月と比較すると、店舗全体において、クリスマスや年末商戦の来客数が減少傾向にあると感じている。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・例年年末はあまり売上が芳しくないが、今年は例年にも増して売上が増加傾向ではなく、前年同月比約10%マイナスであった。なお、クリスマスにおいては、ケーキの単価が100円台のものを中心に売れており、全体的な単価は低下した。ただし、月単位における単価は低下していないことより、売上の上述の傾向の要因は、純粋に来客数が減少していることが要因であると考えている。また、コンビニエンスストアについては、多少飽和傾向が強くなってきていると実感している。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・今年の冬が比較的暖かいことから冬物商材の動きが活発ではなく、また、11月後半より同業の多数の店舗においては一部セールを始めていたことから、客にできるだけセールまで待つて購入するという動きがみられる。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・依然として衣料品は動きが悪く、前年同月の売上を確保することが厳しい状況下にある。なお、これまでは期待感が先行していたが、現実は想定どおりには至っていない。全体としては3か月前の状況よりやや悪くなっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・売上状況を前年同月と比較すると、宿泊部門は増加しているが、レストラン部門及び宴会部門は減少しており、全体としては減少傾向にある。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・年末年始は駆け込みによる申込みが期待できる時期であるが、12月に入り、来客数は増加傾向にはない。また、客単価についても節約傾向にあることから、前年同月比、売上が増加せず、消費が旅行に向いていない現状下にある。なお、全体としては3か月前よりやや悪くなっていると認識している。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・3か月前と比べると、来客数の動きについては、海外客は相変わらず好調に推移しているが、国内旅行の団体客や個人旅行者については前年同月割れとなっている。なお、全体としてはやや悪くなっている。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・来年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要の動きが止まったように感じている。	
悪くなっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年同月と比較すると、来客数については90%、客単価は同98%、売上は同89%で推移している。出張の影響も想定されるが、当該要因以外においては単価の低いものを目的に購入する客が目立って増加していることにより、客単価が低下傾向にあるように感じている。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・受注件数は9月以降毎月減少しており、例年同月と比較しても3分の1に激減している。一方、来場者数も伸び悩んでおり、好転は望めない状況にある。なお、全体としては3か月前の状況より悪くなっている。今後は、高価格帯の客層の動きがかぎといえる。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・現行の消費税率が適用される請負工事契約の締結時期の9月末の終了より3か月になるが、契約件数及び販売量は停滞した状況にあり、増加傾向は感じられない。また、販売量については、前年同月比約7割となっており、来月に向けての見込みも見通せない状況にある。なお、全体としては3か月前よりやや悪くなっていると認識している。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・現行の消費税率が適用される請負工事契約の締結時期が9月末で終了したことに伴う、来年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動により、契約数が減少している。なお、リフォーム需要は依然好調ではあるが、上述の件により、契約を急ぐ決め手が無くなったことから、時間が掛かる事例が増加してきている。

企業 動向 関連  (北陸)	良く なっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の価格競争は非常に厳しいが、エンドユーザーに必要とされる製品については用途を問わず、受注量及び売上額が増加している。</li> <li>・国内及び海外からの受注量が増加している。</li> </ul>
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	
	やや良く なっている	食品品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末の特別品はもちろんのこと、一般的なレギュラー品についても販売量が増加してきている。なお、特別品については追加注文も発生している。</li> </ul>
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税率引上げの影響により住宅需要がかなり増加してきており、当社にとっては今後約3か月間がピークになると想定している。</li> </ul>
		建設業（経営者）	競争相手の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度の公共事業予算がメインテーマとなった11月20日の経済財政諮問会議において、民間議員より、被災地などにおける入札不調の発生を理由として、予算を付けても当該事業が完全には達成できてはいないという意見が出された。なお、入札不調の原因は、公共事業費を平成9年度の9.7兆円をピークとして平成24年度の4.6兆円まで削減し続けたことにより、建設産業の体力が失われたにもかかわらず、発注において適切な対応を怠ったことに起因するものと考えている。現在は、各業者とも必死で工事の完成に取り組んでおり、暇であるよりは多忙である方が景気への期待感が持てる。全体としては3か月前の状況より</li> </ul>
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依然として一部には低価格により受注する業者が見受けられるが、過度な受注価格競争は緩和傾向にある。なお、全体としては3か月前の状況よりやや良くなっている。</li> </ul>
		金融業（融資担当）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株価の上昇などにより、ムードが良くなっている。売上については、秋口は地元百貨店などが前年同月比減少傾向にあったが、ここへ来て高額商材が当該比増加傾向にある。なお、夜の繁華街においても、にぎわってきているように感じている。</li> </ul>
		司法書士	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の新築や改築及びマンションの購入案件が多数あった。また、会社の設立も多かった。</li> </ul>
	税理士（所長）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に需要は増加してきている。大企業を中心に冬のボーナスが上昇した企業もあり、小売関係については堅調に推移している。なお、来年4月の消費税率引上げ前の需要の先取りという側面もあるが、住宅関係においても小売関係と同様の状況にある。上述の件により、現在の景気の状況については3か月前よりやや良くなっていると感じている。</li> </ul>	
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業などにおいては受注量の増加傾向が伝えられており、繊維業においても同様の傾向にはあるが、加工賃については不満が残る状況が続いている。また、円安によるコストの上昇が次第に足を引っ張ってきている。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わらない。</li> </ul>
精密機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点における生産量及び出荷量は、2～3か月前とほぼ同様の状況にある。なお、部分的には新製品の増産体制に入っているが、出荷は1～2か月先になる予定である。</li> </ul>	
輸送業（配車担当）		受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽油価格は低下することなく利益を圧迫しているが、売上状況をみると3か月前と比べてほとんど変化が無く、厳しい状況が続いている。</li> </ul>	
金融業（融資担当）		取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円安などに起因した原材料価格高騰により仕入単価が上昇しているが、販売単価への転嫁は小幅にとどまっており、苦しい状況にある。なお、景気については、今月より足踏みの様相を呈している。また、取引先の状況については、販売数量ベースでいまだに伸び悩んでいる。全体としては3か月前とほとんど変わらない状況にある。</li> </ul>	
不動産業（経営者）		受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業者から、仕事の話が止まってきているという声を多く聞くようになってきたことにより、業況はやや悪くなっていると感じている。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。</li> </ul>	
やや悪く なっている	-	-	-	
悪く なっている	-	-	-	

雇用 関連 (北陸)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月に比べて増加傾向にある。な お、有効求人倍率についても、同様の傾向にあるた め、景気はやや良くなっていると感じている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比13.9%減少したが、当該求 人数のうち、製造業については22.8%増加した。全体 としては3か月前の状況よりやや良くなっている。
	変わらない	人材派遣会社 （役員）	求人数の動き	・年末の繁忙期における需要は一段落したが、景気 の回復傾向がみられないため、今後の需要動向につ いては少ない状況にある。なお、期間限定の案件に ついては応募者数が少なく、また、高度なスキルを 求められる需要案件については成約が困難な状況に ある。全体としては3か月前の状況とほとんど変わ っていない。
		人材派遣会社 （社員）	求職者数の動き	・クライアントからのニーズに適した人材につ いて、量的及び質的において不足感が強い状況に ある。なお、全体としては3か月前とほとんど変わ らない状況にある。
		新聞社〔求人広 告〕（役員）	求人数の動き	・12月の求人広告費の売上は、前年同月比約7割 であった。なお、全体としては3か月前の状況とほ んど変わっていない。
		新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告については、前年同月と比較しても確 実に増加しており、最近の数か月は安定した状況に ある。なお、業種ごとの求人状況をみると、サー ビス業や製造業など、幅広い業種に求人の動きが ある。全体としては3か月前の状況とほとんど変わ っていない。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・増加傾向にあった求人数が横ばいから、多少 ではあるが減少傾向になってきている。なお、全 体としては3か月前の状況とほとんど変わらない。
		民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・人材紹介及び人材派遣の受注件数については、 12月に入ってから増加傾向にあるが、3か月前の 状況と大きな変化が無い。
		学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・求人数は前年同月と比較しても、あまり変化が 無い。
やや悪く なっている	求人情報誌製作 会社（編集者）	求人数の動き	・12月中旬より、求人数が同月上旬と比べて、 求人情報誌発行1回当たり約100件減少した。な お、全体としては3か月前の状況よりやや悪くな っている。	
悪く なっている	-	-	-	